

音楽の道から仏壇店へ「ハーモニー」を大切に お仏壇の阪本四代目・阪本琢磨氏 お仏壇の阪本（和歌山・御坊）



阪本琢磨氏 御坊の店舗にて

和歌山県御坊市のお仏壇の阪本。西本願寺日高別院があることからの御坊の地名であるが、お仏壇の阪本が御坊で創業したのは大正元年のこと。初代阪本義平は親戚に仏壇商売をする人がいたことから塗りを覚え、「地造り仏壇」の販売を行っていた。

二代目の阪本義平を経て、三代目義平でもある現社長の阪本仁志氏は昭和三十一年生まれ。様々なアイデアでお客様を惹きつけてきた。

昨年、仁志社長の次男である琢磨氏が入店した。琢磨氏は昭和五十九年生まれ。地元高校を卒業後、在学中に出会ったトランペットに魅せられ、大学は洗足学園音楽大学（川崎）に進学し卒業後にフランス・パリ留

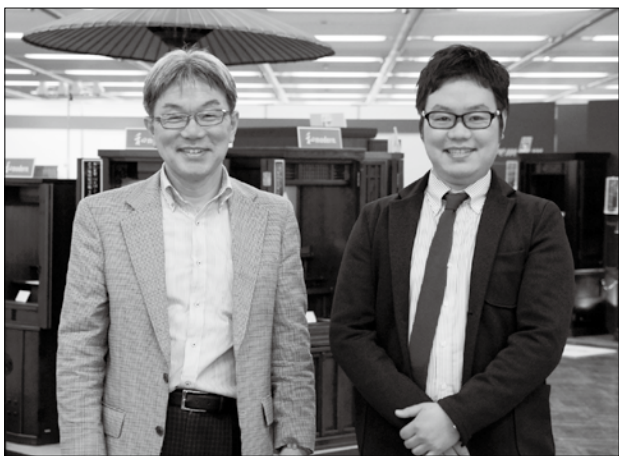
学、現代を代表するトランペッターであるエリック・オビエ氏に師事。フランスでは学ぶ傍らで演奏活動も行ってきたが、三十歳の時に日高に戻ることを決断した。「仕事は毎日発見の連続で充実しています。分か

らないことばかりで勉強の日々です。最近ではお客様の雅楽のお稽古にも参加させて頂いています」と充実ぶりが伝わる。

お仏壇の阪本の店舗は元々日高別院のそばにあったが、昭和五十七年に現在の地に移転し、社屋も建てられた。

「店舗も古くなってきたので、リニューアルの時期かと感じています。息子にもう少し経験を積ませて、後を引き継ぐ彼の意見を反映させた店舗になればと思います」と阪本仁志社長は語る。

◎お仏壇の阪本 御坊市
湯川町丸山四七七一五
TEL〇七三八（二三）
三五一一 FAX〇七三
八（二三）九三七六



今春展示会では阪本仁志社長（左）と共に会場を巡った
東京での展示会場にて